取扱説明書

ProLite

LCD Monitor

ProLite E383
ProLite E383S

重要

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

日本語

energy

警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

VCCI（電波障害自主規制）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

ただし、下記のことが守られず使用された場合は、保証いたしかねますのでご注意ください。

■ モニタの内部およびケーブルの改造はしないこと。

■ 電源コードは付属のものを使用すること。

ENERGY STAR®

当社はENERGY STAR® プログラムの参加事業者として、本製品がENERGY STAR®プログラムの基準に適合していると判断します。

■ 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。

■ 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。

■ 本書に記載した会社名，商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載もれなどお気付きの点がありましたら販売店までご連絡ください。

日本語

愛情点検 長年ご使用のモニタの点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか

●電源コードを動かすと、電源がONになったりOFFになったりする。
●キャビネットが異常に熱い。
●煙が出たり、こげくさい臭いがする。
●使用中に異常な音や振動などがある。
●その他の異常や故障がある。

⇒

ご使用を中止してください

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントからはずし、必ず販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。
点検・修理に要する費用などは販売店またはイーヤマサービスセンターにご相談ください。

もくじ

安全にご使用いただくために

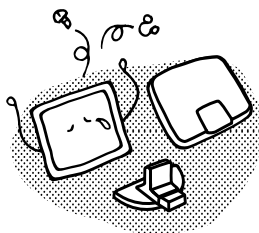
ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

⚠警告

万一、異常が発生したら

プラグを抜く

煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

分解禁止

キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は販売店またはイーヤマサービスセンターにご依頼ください。

禁止

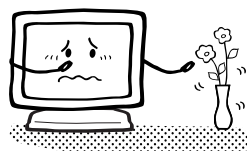
プラグを抜く

異物を入れない

モニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、

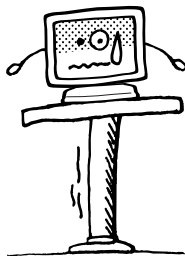
電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。

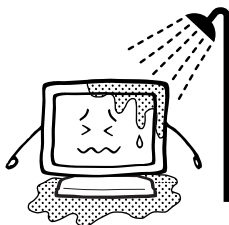
禁止

プラグを抜く

花びんやコップをモニタの近くに置かない

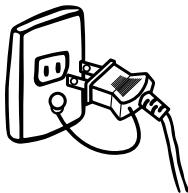
水やその他の液体、溶剤の入った容器をモニタの近くに置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。
万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。

⚠ 警告

禁止
プラグを抜く

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。
万一、モニタを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。

アースを接地する

電源コードのアースリードを接地する

安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。

禁止

電源コードを傷つけない

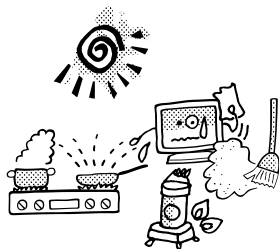
電源コードの上に重いものをのせたり、モニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。
コードが傷んだらすぐに販売店またはイーヤマサービスセンターに交換をご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

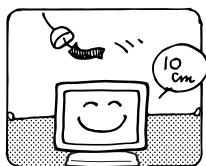
感電の原因となります。

⚠ 注意

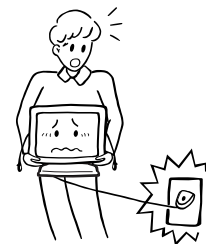
禁止

置き場所を選ぶ

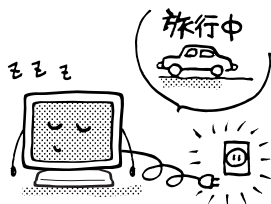
次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

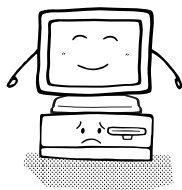
× 湿気やほこりの多い場所
× 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
× 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
× 熱器具の近く

通風孔をふさがない

次のような使い方はしないでください。

× チルトスタンドをはずす。
× あお向けや横倒し、逆さまにする。
× 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
× じゅうたんや布団の上に置く。
× テーブルクロスなどをかける。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、モニタは周囲から10cm以上離して置いてください。

移動させるときは、外部の接続コードをはずす

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

コンピュータの上にモニタを置くとき

必ずコンピュータの取扱説明書などで強度を確認してください。コンピュータが破損する原因となることがあります。

⚠ 注意

プラグを持って抜く

電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。

接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらないで

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

<ProLite E383Sをご使用の場合>
スピーカーにフロッピーディスクを近づけない

スピーカーは磁気を発生するため、磁気記録のデータが消えてしまうことがあります。

正しくご使用いただくために

目を大切に

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～60cmはなれたくらいが見やすくて疲れません。使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休息をおすすめします。

故障ではありません

- ■ お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合があります。画面位置を正しく調整してご使用ください。
- ■ ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出ることがあります。この場合、電源スイッチをいったん切り、再度スイッチを入れなおしてご確認ください。
- ■ 液晶モニタは、表示する色や明るさにより微小な斑点およびむらが見えることがあります。
- ■ 画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネルの特性によるものです。
- ■ 液晶パネルの特性上長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像(焼き付きのような症状)が発生する可能性があります。この場合、下記のいずれかの方法で徐々に改善されます。
  - ・画面の表示パターンを変える。
  - ・数時間電源を切っておく。
- ■ 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。
  画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、販売店またはイーヤマサービスセンターまでお問い合わせください。

ご使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。なお、複数機種を併せて記載していますので、仕様が一部異なるところはそれぞれの機種名を明記しています。

特長

◆ 38センチ(15.0インチ) TFTカラー液晶モニタ

◆ 最大1024×768モードをサポート

◆ 高コントラスト400:1, 高輝度250cd/m^{2}の高性能パネル採用

◆ 新デザイン19.8mmのナローベゼル＆スリム設計

◆ 多彩なカラーコントロール機能
国際標準規格sRGBモードに対応、きめ細やかな調整も可能です。

◆ ガンマコントロール機能
動画や自然画を見る際、黒沈みを抑え、メリハリのある画像を表示できます。

◆ デジタルスムージング機能搭載

◆ 調整の手間を軽減する自動調整機能

◆ ProLite E383S: ステレオスピーカ内蔵
1.5W＋1.5W 出力のステレオスピーカ内蔵。便利なヘッドホン端子も搭載しています。

◆ エコノミーモード搭載
明るさを抑え消費電力を低減できます。

◆ プラグ&プレイ VESA DDC1/2B対応
Windows® 95/98/2000/Me/XP上でプラグ＆プレイに対応しています。

◆ 低電磁波・省電力設計
TCO '99, MPRⅢ適合
パワーマネージメント機能搭載

◆ VESAマウント規格(75mm×75mm)対応

日本語

標準付属品

モニタ本体の他に、下記のものが全て含まれていることをご確認ください。

■ 電源コード*
■ スタンド
■ クイックスタートガイド
■ D-SUB信号ケーブル
■ インフォメーションCD
■ ユーザー登録のご案内

ProLite E383S付属品
■ オーディオケーブル

補足 * 次のような場合は、サポート及び保証の対象外となります。
■付属以外の電源コードをお使いになる場合
■日本以外の国でお使いになる場合
サポート及び保証の対象外となることをご承知の上で日本以外でお使いになる場合は、その国の安全規格に合った電源コードをご使用ください。

スタンドの取り付け

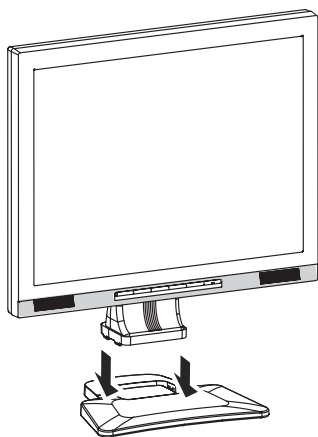
本製品はスタンドを取り付けて使用することを目的に設計されています。必ずスタンドを取り付けてご使用ください。

■ スタンドの取り付けは安定した台の上で行ってください。モニタが転倒・落下してけがや故障の原因となります。

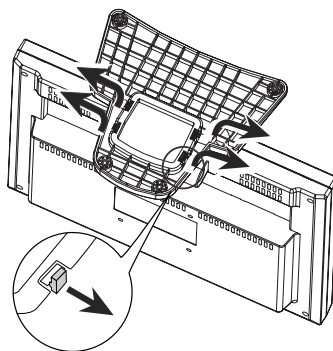
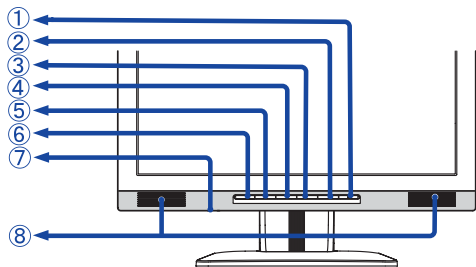
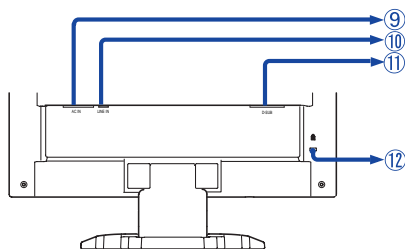
■ モニタに強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

■ スタンドの取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となります。

＜取り付け＞

スタンドを取り付けます。

＜取り外し＞

スタンド底面のフックを押して、スタンドを取り外します。

日本語

各部のなまえ

前面　　　　　　　　　　後面

① 電源スイッチ／電源インジケータ (POWER)

補足　緑色点灯：通常動作時 (ProLite E383 / ProLite E383-B / ProLite E383-S / ProLite E383S)
青色点灯：通常動作時 (ProLite E383S-B / ProLite E383S-S)
橙色点灯：パワーマネージメント時
水平同期信号、垂直同期信号のどちらか一方、もしくは両方が無くなった場合、パワーマネージメントモードになります

② 自動調整ボタン (AUTO)
詳細については、P.13「自動調整」の項目を参照してください。

③ EXIT／Volume*ボタン（EXIT／ 🔈 ）

④ プラス／ブライトネス調整ボタン（+／☼）

⑤ マイナス／コントラスト調整ボタン（−／◐ ）

⑥ メニューボタン (MENU)

⑦ ヘッドホン端子*

⑧ スピーカー*

⑨ 電源コード接続コネクタ (AC IN)

⑩ 音声入力コネクタ (LINE IN)

⑪ D-SUBミニ15ピンコネクタ (D-SUB)

⑫ 盗難防止ロック用ホール

補足　盗難防止のため、モニタにロックを取り付けることができます。

***ProLite E383S**のみ対応

日本語

コンピュータとの接続

警告 ■ 安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。

注意 ■ 信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニタやコンピュータの故障の原因となることがあります。

■ 周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

① モニタおよびコンピュータの電源が「OFF」であることを確認します。

② 信号ケーブルをコンピュータに接続します。(P.24「信号入力コネクタのピン配列」参照)

補足　信号ケーブルのコネクタ部付属のネジをしっかりと締めてください。

*③ オーディオ機能を使用する場合は、オーディオケーブルをモニタとオーディオ機器に接続します。

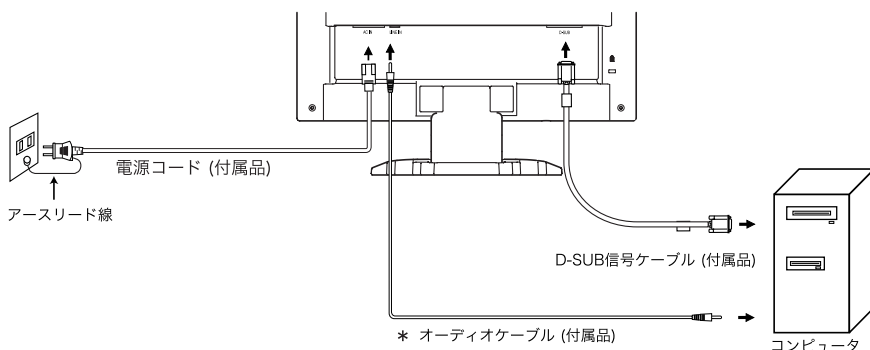
④ 電源コードを電源コード接続コネクタに接続してから、コンセントに接続します。この際、アースの接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。

[接続例]

<後面>

***ProLite E383S**のみ対応

日本語

アダプタの品名を青色で記載しています。

接続するコンピュータ	コンピュータ側	接続		モニタ側
AT互換機（DOS/V） IBM	D-SUB ミニ15ピン	D-SUB信号ケーブル （付属品）		D-SUB ミニ15ピン
NEC PC98				
NEC PC98	D-SUB 15ピン	変換アダプタPC98 パーツNo.242Z020-01	D-SUB信号ケーブル （付属品）	
Macintosh*	D-SUB 15ピン	変換アダプタMAC パーツNo.T985V003-30	D-SUB信号ケーブル （付属品）	

保護シート	液晶パネルの表面を、汚れや傷から保護します。 パーツ No.832Z001-03

補足 * Macintoshと接続する場合は専用アダプタあるいはケーブルなどが必要となる場合があります。

コンピュータの設定

■ 信号タイミング

本製品がサポートしているお好みの解像度(P.24「対応信号タイミング」参照)に設定してください。

■ Windows 95/98/2000/Me/XPプラグ＆プレイ対応

本製品はVESA規格のDDC1/2Bに対応しています。DDC1/2B対応のコンピュータと本製品付属の信号ケーブルで接続することにより、Windows 95/98/2000/Me/XP上でプラグ＆プレイ機能が動作します。この際、Windows 95/98/2000/Me/XP モニタインフォメーションファイルのインストールが必要になる場合があります。インストール方法については、インフォメーションCD内の「インフォメーションファイル」をご覧ください。

日本語

補足 ■ MacintoshまたはUnixについては、ほとんどの場合モニタドライバは必要ありません。詳しくは、コンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカ等にお問い合わせください。

インフォメーションCDについて

●Windows

Windowsでご使用いただく際は、CDをパソコンにセットするとCDが自動再生します。

●Macintosh

Macintoshでご使用いただく際は、CDをパソコンにセットしてもCDは自動再生しません。CD内の「index.html」ファイルをクリックしてください。

●動作環境

■インフォメーションCDはMicrosoft® Internet Explorer 5.5以上で最適化されています。
■Netscape等では正しく表示されない場合がありますので、 予めご了承ください。
■Linux環境での動作保証はしておりません。インフォメーションCDをご使用いただく際は、「for_Linux.txt」ファイルをご参照ください。
■画面調整プログラムご使用の際、テストパターン前面にメニュー画面が表示されない場合は、「Alt」＋「Tab」キーを押し、【モニタチェック】画面を表示させてください。
■ご使用のパソコンにmacromedia®「Flash Player™」がインストールされていない場合は、インフォメーションCDのオープニング映像をご覧になることができません。インストールはmacromediaのサイトから「Flash Player」をダウンロードして行ってください。
■ご使用のパソコンにAdobe®「Acrobat® Reader™」がインストールされていない場合は、取扱説明書をご覧になることができません。インフォメーションCD内の「取扱説明書」にある「Get Acrobat Reader」でインストールを行ってください。

●言語選択

インフォメーションCD起動時のメニュー画面は、英語表示になっています。「Select your language」のプルダウンメニューからご使用の言語を選択してご覧ください。

パネルの角度調節

■ 角度調節の際、液晶パネル面を押さないでください。液晶パネルを破損し、最悪の場合、液晶パネルが割れるおそれがあります。

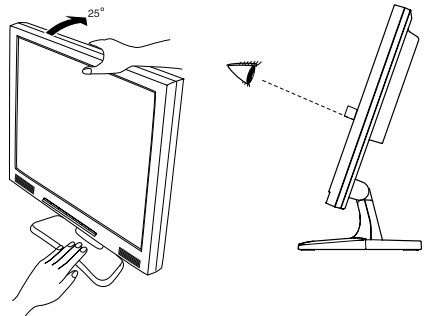
■ 角度調節の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れないでください。ケガの原因となることがあります。

■ 液晶モニタは、正面から見る画面が一番きれいに見えます。

■ 角度調節の際は、倒れないようにスタンド部を必ず押さえてください。

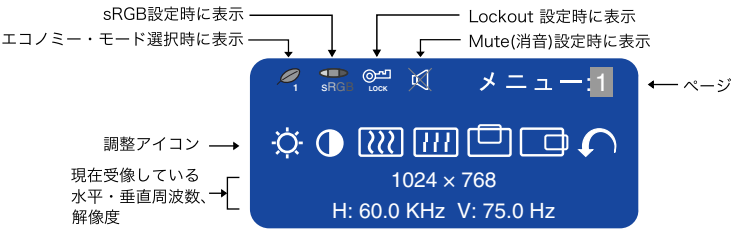
■ 調節範囲は25°（後方0°～25°）です。

■ 画面の角度は10°以内にすると目の疲れ等なく、最適に使用することができます。傾きを調節して、見やすい位置でご使用ください。

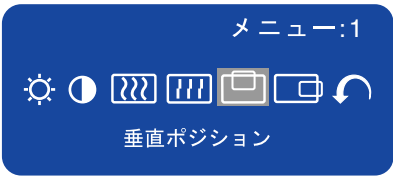
日本語

操作手順

P.24の「対応信号タイミング」にて、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、接続するコンピュータの種類により調整が必要になる場合があります。そのようなときは次の手順に従ってボタン操作を行ってください。

オンスクリーン表示の工場出荷設定言語は英語表示になっています。お好みにより言語を選択してください。なお、ここでは日本語表示で説明しています。

① メニューボタンを押すと、画面にメニューが表示されます。プラス/マイナスボタンでページを送ります。

② 調整したいアイコンがあるメニュー画面(ページ)を表示し、メニューボタンを押します。カーソルがアイコンの列に移動するので、プラス/マイナスボタンで調整するアイコンを選択します。

③ 再びメニューボタンを押し、プラス/マイナスボタンを使って調整や設定を行っていきます。

例えば垂直ポジションを調整したいときは、まずメニュー：1のページを表示させ、メニューボタンを押します。次にプラス/マイナスボタンで (垂直ポジション)を選択し、メニューボタンを押します。

調整画面が表示されますので、プラス/マイナスボタンでお好みの画面に調整します。

補足

- ■ 調整中にボタン操作を中止すると、数秒後にオンスクリーン表示が消えます。また、EXITボタンを押すと即時にオンスクリーン表示を消すことができます。
- ■ オンスクリーン表示が消えると同時に調整内容が記憶されます。この間に電源を「OFF」しないでください。
- ■ クロック、フェーズ、画面位置の調整内容は、信号タイミング別に記憶されます。これ以外の調整項目については全ての信号タイミングに対して共通の内容が記憶されます。

日本語

調整メニューの内容

言語選択(Language)で日本語表示を選択した場合を黒色、英語表示を選択した場合を青色にて記載しています。

調整項目	画面の状態/調整ボタン
ブライトネス*1 Brightness ダイレクト調整	暗すぎる + / 明るすぎる −
コントラスト Contrast ダイレクト調整	弱すぎる + / 強すぎる −
クロック*2 Clock	模様、文字がにじんだりちらついている + −
フェーズ*2 Phase	模様、文字がにじんだりちらついている + −
垂直ポジション V-Position	下によっている + / 上によっている −
水平ポジション H-Position	左によっている + / 右によっている −
メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：1に戻ります

*1　暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、ブライトネスを調整してください。

*2　調整方法および手順については、P.16「画面の調整」を参照してください。

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

- ブライトネス：メニュー画面を表示していない時にブライトネス調整ボタンを押します。
- コントラスト：メニュー画面を表示していない時にコントラスト調整ボタンを押します。

メニュー：2

1024 × 768
H: 60.0 KHz V: 75.0 Hz

<table>
<tr><th>調整項目</th><th></th><th colspan="2">画面の状態/調整ボタン</th></tr>
<tr><td rowspan="4">AUTO 自動調整*1
Auto Set-up
ダイレクト調整</td><td>NO</td><td colspan="2">メニュー画面に戻ります</td></tr>
<tr><td>YES</td><td colspan="2">クロック,フェーズ,垂直ポジション,水平ポジションの4項目を自動で調整します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Setting</td><td>オフ</td><td>信号タイミングを切り替えても自動調整されません。</td></tr>
<tr><td>オン</td><td>信号タイミングを切り替えた時、クロック,フェーズ,垂直ポジション,水平ポジションの4項目を自動調整します。</td></tr>
</table>

補足 ■ 調整中は画面の明るさが変わり、数秒時間がかかります。
■ 工場出荷設定はSettingがオフになっていますので、信号タイミングを切り替えてもこの機能は自動的に動作しません。

<table>
<tr><td rowspan="5">カラー調整
Color Temp.</td><td>1</td><td colspan="3">Color 1： 9300K</td></tr>
<tr><td>2</td><td colspan="3">Color 2： 7500K</td></tr>
<tr><td>3</td><td colspan="3">Color 3： 6500K</td></tr>
<tr><td>s</td><td colspan="3">sRGB</td></tr>
<tr><td>(ユーザー)</td><td>MENU</td><td>R
G
B</td><td>弱すぎる ＋
強すぎる −</td></tr>
</table>

補足 ■ sRGBとは、機器間の色再現(色彩、彩度等)の違いを規定・統一した国際規格です。
■ sRGBモードでは、ガンマ補正、エコノミーモードが固定値となり調整できません。
■ sRGBモードを選択するとsRGBが表示されます。

<table>
<tr><td>シャープネス
Sharpness</td><td>1 2 3 4 5

1024×768未満の解像度で表示したときの画質を調整します。
1〜5(シャープ→ソフト)まで設定されています。
プラス調整ボタンを押すと昇順に移動し、マイナス調整ボタンを押すと降順に移動します。</td></tr>
</table>

*1 この機能を正常に動作させるには、画面調整パターンを表示させる必要があります。調整方法および手順については、P.16「画面の調整」を参照してください。

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

● 自動調整：メニュー画面を表示していない時にAUTOボタンを押します。

調整項目		画面の状態
ガンマ補正 Gamma	オフ	ノーマル
	Mode1	ハイコントラスト
	Mode2	ダーク
エコノミー・モード Economy Mode ダイレクト調整	オフ	ノーマル
	Mode1	バックライトの明るさを抑え、消費電力を低減します
	Mode2	Mode1よりバックライトの明るさを抑え、消費電力を更に低減します
補足 ■ エコノミー・モードを選択するとが表示されます。		
メニューに戻る Return to Menu		カーソルがメニュー：2に戻ります

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

●エコノミー・モード：メニュー画面を表示していない時にメニューボタンを1～2秒間押し続けるとエコノミー・モードのオフ,Mode1,Mode2が切り替わります。

日本語

メニュー：3

メニュー：3

1024 × 768

H: 60.0 KHz V: 75.0 Hz

調整項目	画面の状態/調整ボタン	
音量調整* Volume ダイレクト調整	音量が小さい	+
	音量が大きい	−
補足 ■Mute(消音)に設定すると が表示されます。		
OSD位置調整 OSD Position	1 2 3 4 5 1〜5までオンスクリーンの移動位置が設定されています。 プラス調整ボタンを押すと昇順に移動し、マイナス調整ボタンを押すと降順に移動します。お好みの位置にオンスクリーンを移動させてください。	+ −
言語選択 Language	English	英語表示
	Deutsch	ドイツ語表示
	Français	フランス語表示
	Español	スペイン語表示
	Italiano	イタリア語表示
	日本語	日本語表示
Lockout Lockout	オフ	ロックが解除されます
	オン	Lockout以外のすべての調整がロックされます
補足 ■Lockoutを選択すると LOCK が表示されます。		
リセット Reset	NO	メニュー画面に戻ります
	YES	工場出荷設定に戻します
メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：3に戻ります	

*ProLite E383Sのみ対応

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

● 音量調整：　メニュー画面を表示していない時にVolumeボタンを押します。1〜2秒間押し続けるとMute(消音)になります。同じ操作を行うことによりMuteを解除することができます。

日本語

画面の調整

アナログ入力時は、必要に応じて画面を調整してご使用ください。

■ 本製品での画面調整とは、お使いのコンピュータシステムに合わせ画面の位置を調整したり、表示される模様や文字のにじみ、ちらつきを最小限に調整することをいいます。

■ 本製品に搭載されている液晶パネルは、1024×768の解像度の時に最高の性能が発揮できるよう設計されています。1024×768未満の解像度では、自動的に拡大表示モードとなり、液晶パネル本来の性能は発揮できませんので、通常は1024×768の解像度で使用することをおすすめします。

■ 拡大表示モードでは画面拡大処理の関係上、表示される文字がぼやけたり、線が部分的に太くなります。

■ コンピュータのディスプレイドライバによっては、画面の位置、周波数の微調整ができるものがありますが、正常に表示できなくなる可能性がありますので、微調整は本製品側の調整機能を使用してください。

■ 調整は、電源を「ON」して30分以上たってから行ってください。

■ 自動調整は解像度や画像のタイミングにより、微調整が必要な場合があります。

■ 画面調整パターン以外では、自動調整が正常に機能しない場合があります。そのようなときは手動で調整を行ってください。

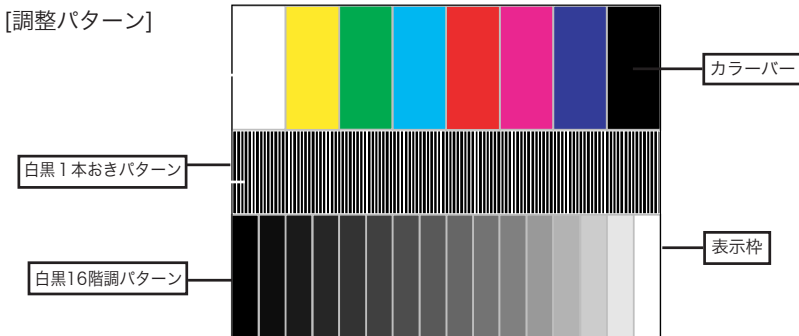
本製品には、画面の調整方法としてクロック,フェーズ,ポジションを自動で行う方法と、個々の調整を手動で行う方法があります。新しくコンピュータを接続したときや解像度を変更した場合は、まず自動調整を行います。それでも文字のにじみやちらつき、ポジションずれがある場合は手動で微調整を行います。
いずれも、付属のインフォメーションCDに収録されている「画面調整プログラム」を起動して調整を行います。

次の手順に従い調整を行ってください。本書では、Windows 95/98/2000/Me/XPを基準に説明しています。

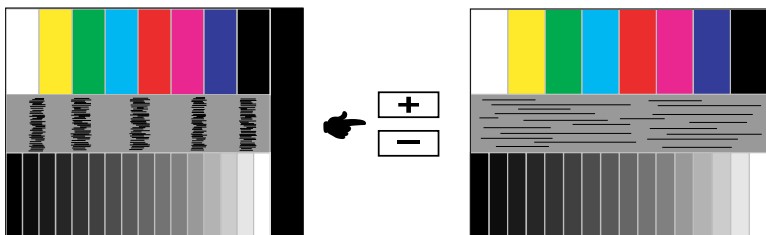
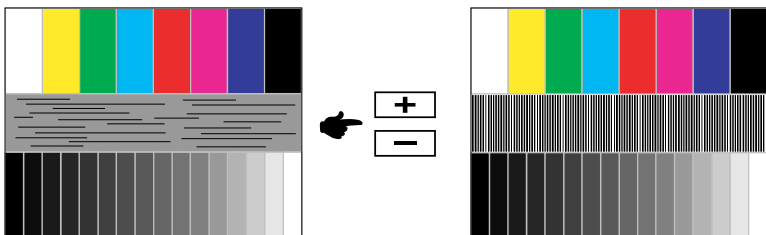
①インフォメーションCDの「画面調整プログラム」を起動します。

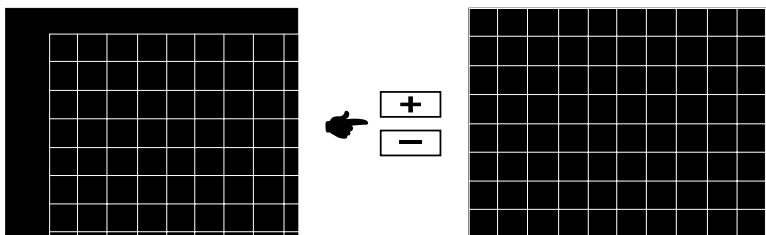
② お使いのモニタの解像度を選択すると、調整パターンが表示されます。

[調整パターン]

日本語

③ AUTOボタンを押します。(自動調整)

④ 自動調整を行っても画面のちらつきやにじみ、ポジションずれがある場合は、以下の手順で手動調整を行います。

⑤ 調整メニューのクロックにて調整パターンの右枠が表示領域の右端にくるよう調整します。

⑥ 白黒一本おきパターンに注目し、横縞状のノイズ、にじみ、ちらつきが最小限になるよう、調整メニューのフェーズにて調整します。

⑦ 画面調整プログラムの「位置」を選択し、調整メニューの垂直ポジション, 水平ポジションにてクロスハッチパターンの上下左右枠が表示領域に入るよう調整します。

日本語

補足

■ クロックを調整中、調整パターンの左枠が表示領域の左端からずれてしまう場合は、クロックと水平ポジションを交互に調整してください。

■ クロック調整は白黒一本おきパターンに注目し、縦縞状のノイズが無くなるよう調整するのも一つの方法です。

■ クロック, 垂直ポジション, 水平ポジションを調整中、画面が一瞬乱れることがありますが、故障ではありません。

■ クロックを調整しても表示領域に収まらない場合は、③からもう一度調整を行ってください。

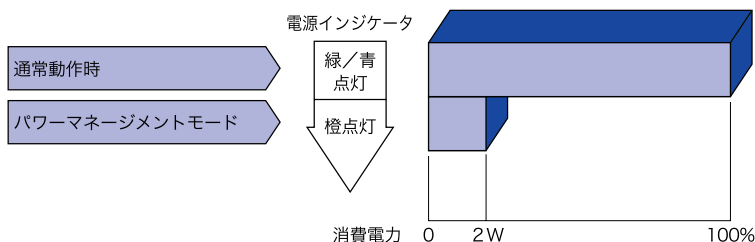
■ フェーズを調整しても画面の一部分にひどくにじみやちらつきが残る場合、クロックが正確に調整されていない可能性があります。⑤からもう一度調整を行ってください。それでもにじみやちらつきが残る場合、コンピュータのリフレッシュレートを低く(60Hz)設定し、③から調整を行ってください。

■ フェーズを調整中、水平ポジションがずれてしまう場合は、フェーズ調整を終えてから水平ポジションにて調整してください。

⑧ 最後に、画面調整プログラムの「明るさ」を選択し、調整メニューのブライトネス, コントラストにて、調整パターン下部の白黒16階調が見えるよう、目が疲れない程度の明るさ、色合いに調節します。
「終了」をクリックしてプログラムを終了させてください。

パワーマネージメント機能

本製品のパワーマネージメント機能は、ENERGY STAR®, VESA DPMSそれぞれの省電力に関する規格に対応しており、一定時間コンピュータを使用しないときにモニタの消費電力を自動的に抑えることができます。この機能はVESA DPMSに対応したコンピュータと接続して使用される場合のみ機能し、次のモードを備えています。モードの時間設定等はコンピュータ側で行います。

■ パワーマネージメントモード
コンピュータからの水平同期信号/垂直同期信号のどちらか一方、または水平および垂直同期信号がOFF状態になるとパワーマネージメントモード（消費電力 2W以下）となり、画面が暗くなるとともに電源インジケータが橙色に点灯します。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、画面は数秒後に表示され通常動作状態に戻ります。

補足 ■ パワーマネージメントモードでも電力を消費しています。夜間や週末などモニタを使用しないときは必ず電源スイッチを切り、不要な電力消費を避けてください。

■ 水平または垂直同期信号がOFFになっているにも関わらずビデオ信号が出力されているコンピュータについては、パワーマネージメント機能が正常に動作しない場合があります。

日本語

故障かなと思ったら

「故障かな？」と思ったら次の順番で調べてみてください。

1. 「操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。なお、映像が出ない場合は2へ進んでください。
2. 調整項目にない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、モニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。

症状	チェックポイント
① 映像が出ない (インジケータ点灯せず)	□ 電源コードが確実に接続されていますか？ □ 電源スイッチが「ON」されていますか？ □ 電源コンセントに電気がきていますか？ 別の機器で確認してください。
(インジケータ緑/青色)	□ ブランクスクリーンセーバーが作動中ではありませんか？ マウスやキーボードを触ってみてください。 □ 輝度およびコントラストが最小になっていませんか？ □ コンピュータの電源は入っていますか？ □ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
(インジケータ橙色)	□ パワーマネージメント状態ではありませんか? マウスやキーボードを触ってみてください。 □ コンピュータの電源は入っていますか？ □ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
② 画面が乱れている	□ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？ □ コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
③ 画面の位置が片寄っている	□ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
④ 画面が明るすぎる／暗すぎる	□ コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？

日本語

症状	チェックポイント
⑤ 画面が揺れる	□ 電源電圧は正常ですか？ タコ足配線はやめてください。 □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
*⑥ 音が出ない	□ オーディオ機器(コンピュータ等)の電源は入っていますか？ □ オーディオケーブルが確実に接続されていますか？ □ 音量調整が最小になっていませんか？ □ Mute(消音)になっていませんか？ □ オーディオ機器の音声出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
*⑦ 音が大きい／小さい	□ オーディオ機器の音声出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
*⑧ 異音がする	□ オーディオケーブルが確実に接続されていますか？

*ProLite E383Sのみ対応

日本語

クリーニング

⚠ **警告** ■ **万一、モニタ内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。**

⚠ **注意** ■ **安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。**

補足

■ 液晶パネル表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。

■ キャビネットや液晶パネルを痛めないために、次の溶剤は使用しないでください。

・シンナー　　・スプレークリーナー
・ベンジン　　・ワックス
・研磨剤　　　・酸性、アルカリ性の溶剤

■ キャビネットにゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

キャビネット 柔らかい布を薄い中性洗剤でわずかに湿らせて汚れを落としてください。その後乾いた柔らかい布で拭いてください。

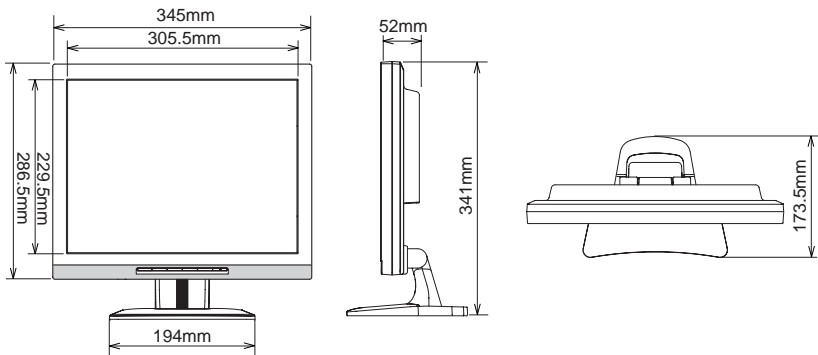
液晶パネル 定期的に柔らかい布でやさしく拭いてください。ティッシュペーパー等で拭くと傷が入る恐れがありますので、使用しないでください。

付録

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

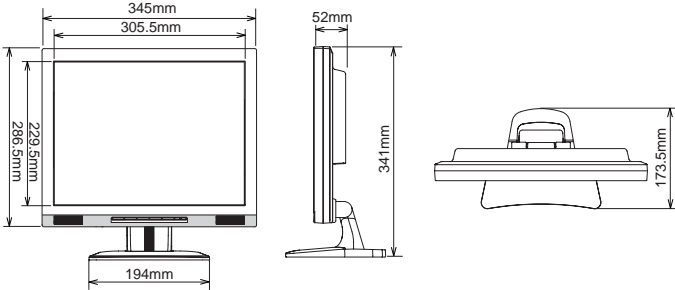
一般仕様: ProLite E383

液晶パネル	駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリックス
	サイズ	対角：38cm／15.0″
	画素ピッチ	水平 0.297mm×垂直 0.297mm
	輝度	250cd/m^2 (標準)
	コントラスト比	400：1 (標準)
	視野角	上：45° 下：55° 左右各65°
	応答速度	25ms (黒→白→黒)
最大表示色		約1620万色
走査周波数		水平 24.0～60.0kHz 垂直 55～75Hz
ドットクロック		80MHz(最大)
解像度		1024×768(最大) 0.8MegaPixels
信号入力コネクタ		D-SUBミニ15ピンコネクタ
プラグ＆プレイ機能		VESA DDC1/2B™対応
入力同期信号		セパレート同期：TTL，正極性／負極性
入力映像信号		アナログ：0.7Vp-p(標準)，75Ω，正極性
最大表示範囲		水平：304.1mm 垂直：228.1mm
入力電源		AC100～240V 50/60Hz 1.5A
消費電力		25W(最大) パワーマネージメントモード時 2W(最大)
外形寸法, 重量		345(幅) ×341(高) × 173.5(奥行) mm，3.0kg
角度調節範囲		25° （後方0° ～ 25° ）
環境条件		動作時： 温度 5～35℃ 湿度 10～80%（結露なきこと） 保管時： 温度 －20～60℃ 湿度 5～85%（結露なきこと）
適合規格		TCO' 99, CE, TUV-GS/MPRⅢ(prEN50279)/ISO 13406-2, FCC-B, UL/C-UL, VCCI-B

日本語

一般仕様: ProLite E383S

液晶パネル	駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリックス
	サイズ	対角：38cm／15.0″
	画素ピッチ	水平 0.297mm×垂直 0.297mm
	輝度	250cd/m² (標準)
	コントラスト比	400：1 (標準)
	視野角	上：45° 下：55° 左右各65°
	応答速度	25ms (黒→白→黒)
最大表示色		約1620万色
走査周波数		水平 24.0～60.0kHz 垂直 55～75Hz
ドットクロック		80MHz(最大)
解像度		1024×768(最大) 0.8MegaPixels
信号入力コネクタ		D-SUBミニ15ピンコネクタ
プラグ＆プレイ機能		VESA DDC1/2B™対応
入力同期信号		セパレート同期：TTL, 正極性／負極性
入力映像信号		アナログ：0.7Vp-p(標準), 75Ω, 正極性
音声入力コネクタ		φ3.5mm ステレオミニジャック
入力音声信号		0.7Vrms(最大)
スピーカー		1.5W×2(アンプ付きステレオスピーカー)
ヘッドホン端子		φ3.5mm ステレオミニジャック
最大表示範囲		水平：304.1mm 垂直：228.1mm
入力電源		AC100～240V 50/60Hz 1.5A
消費電力		30W(最大) パワーマネージメントモード時 2W(最大)*
外形寸法, 重量		345(幅) ×341(高) × 173.5(奥行) mm, 3.0kg
角度調節範囲		25° （後方0° ～ 25° ）
環境条件		動作時： 温度 5～35℃ 湿度 10～80% (結露なきこと) 保管時： 温度 −20～60℃ 湿度 5～85% (結露なきこと)
適合規格		TCO' 99, CE, TUV-GS/MPRⅢ(prEN50279)/ISO 13406-2, FCC-B, UL/C-UL, VCCI-B

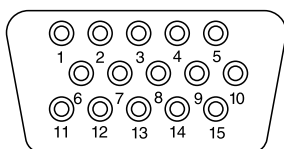
補足 * オーディオ機器未接続時

日本語

対応信号タイミング

ビデオモード		水平周波数	垂直周波数	ドットクロック
VESA	VGA 640×480	31.469kHz	59.940Hz	25.175MHz
		37.500kHz	75.000Hz	31.500MHz
		37.861kHz	72.809Hz	31.500MHz
	SVGA 800×600	35.156kHz	56.250Hz	36.000MHz
		37.879kHz	60.317Hz	40.000MHz
		46.875kHz	75.000Hz	49.500MHz
		48.077kHz	72.188Hz	50.000MHz
	XGA 1024×768	48.363kHz	60.004Hz	65.000MHz
		56.476kHz	70.069Hz	75.000MHz
		60.023kHz	75.029Hz	78.750MHz
VGA TEXT	720×400*	31.469kHz	70.087Hz	28.322MHz
Macintosh	640×480	35.000kHz	66.667Hz	30.240MHz
	832×624	49.725kHz	74.500Hz	57.283MHz
PC9801	640×400*	24.827kHz	56.424Hz	21.053MHz

補足 * 画像の縦横比が4：3でないため、上下方向に間のびした画像になります。

信号入力コネクタのピン配列

■ D-SUBミニ15ピンコネクタ

PIN	入力信号	PIN	入力信号
1	赤ビデオ	9	
2	緑ビデオ	10	接地
3	青ビデオ	11	メンテナンスポート
4	メンテナンスポート	12	データライン(SDA)*
5	接地	13	水平同期
6	赤ビデオ接地	14	垂直同期
7	緑ビデオ接地	15	クロックライン(SCL)*
8	青ビデオ接地		

*VESA DDC規格に準拠

日本語